

あすチャレ！ジュニアアカデミー

11月12日（木）、1年生とD組の生徒を対象に、日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する「あすチャレ！ジュニアアカデミー」を行いました。これは、パラリンピックやパラスポーツを題材に、障がい者の”リアル”を、当事者である講師の先生にお越しいただき、今まで聞けなかった・聞いちゃいけないと思っていた疑問等を一緒に考える授業です。障がい者について知ることで、一人一人が気づき、考え、行動できるようになり、障がいのある人もない人も、互いに相手を思いやり、支え合い、違いを受け入れて、よりよい社会を作るための第一歩を踏み出すことにつながります。

今回は、1988年ソウルパラリンピック陸上競技「スラローム」金メダリストの永尾由美さんにお越しいただきました。パラスポーツとの出会いや車椅子での生活のお話を聞かせていただいたり、生徒自身が視覚・聴覚障がいの体験をする取組も行いました。

今回のお話や体験を通して、障がい者への理解が今まで以上に深まったはずです。また、講師の先生の実体験やパラスポーツの知識から、共生社会の実現に向けた基本的な考え方を身に付けることができました。



《 生徒感想より 》

- ・由美さんはポジティブで、積極的にチャレンジしたから、パラリンピックで金メダルを獲れたと思いました。私も自分の目標に向かってチャレンジしていこうと思えました。
- ・たとえ失敗してしまっても、少し逃げたくなっても、諦めないでチャレンジすることが大切だと思います。
- ・車いすの生活は不便で大変だと思っていたけど、ちょっとした工夫で自分たちと同じ生活ができたり、いろいろなことにもチャレンジできることを知ることができました。
- ・障がいがあっても、いろいろなことにチャレンジしている姿がかっこ良かったです。
- ・パラリンピアン競技している姿や笑顔が素敵でした。